

厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業)

総括研究報告書

医療機関外死亡における死後画像診断に関する研究

研究分担者 池田典昭 九州大学大学院医学研究院法医学分野 教授

研究要旨

エビデンスに基づく死後画像読影ガイドライン作成に当たり、法医学会の意見を取り入れ、死後画像読影に際して有益な内容となるよう編集・校正を行う。

研究分担者氏名:池田典昭

所属研究機関・所属研究機関における職名:
九州大学大学院医学研究院法医学分野
教授

C. 研究結果

日本法医学会会員よりいくつかの問い合わせがあった。また、ガイドラインの実務上の用途、使用方法について質問があった。

A. 研究目的

作成中の読影ガイドライン(案)を日本法医学会会員に周知し、検案・解剖に従事している医師より直接コメントを求め内容の改定、充実化を計る。

D. 考察

読影ガイドラインを法医学実務に応用する際の問題点がいくつか抽出されたと考えられる。このことは死後画像診断を用いることで危惧される点についての改善、制度設計に役立つのではないかと考えられた。

B. 研究方法

日本法医学会会員への周知方法として、ほとんどの会員が加入しているメーリングリストを使用して、意見を求めた。また、学会での症例発表時に簡単な例示を行った。

E. 結論

第一版としての死後画像読影ガイドラインの策定を行った。

(倫理面への配慮)

具体的な事例が特定できないように配慮するとともに、一般常識から逸脱しないように修正/改善を指導した。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

1. 論文発表

勤務中に発生した硫化水素中毒死の3

例、法医学の実際と研究、57 :
17-21,2014.

2. 学会発表

1) 上顎歯肉癌に基づく飢餓により死亡した
一部検例、第 64 回日本法医学会学術九州
地方集会、2014 年 10 月、鹿児島

2) 浣腸後の S 状結腸穿孔による急性腹膜
炎で死亡した一例、第 15 回日本法医学会
学術北日本地方集会、2014 年 10 月、山形

3) 医療過誤が疑われた胃幽門部潰瘍穿孔
の一例、第 31 回日本法医学会学術中四国
地方集会、2014 年 11 月、高松

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし